◎ビソルボン注射液　［注］，◎ビソルボン吸入液0.2%　［外］，▼ビソルボンシロップ［内］

【重要度】　【一般製剤名】ブロムヘキシン塩酸塩　Bromhexine Hydrochloride　【分類】気道粘液溶解剤
【単位】◎4mg/A［0.2%2mL］，◎0.2%吸入液［1本45mL］，▼0.08%シロップ
【常用量】■注射：1回4～8mg■内服：1回4mg1日3回■吸入：1回2mLを生食等で2.5倍に希釈して1日3回ネブライザー吸入
【用法】■注射：1日1～2回静注，筋注■吸入薬は水で希釈した場合は咳き込みが増加する傾向にある
【透析患者への投与方法】腎排泄性薬物ではないので減量の必要はないと思われる（Biopharm Drug Dispos 3: 337-344,1982）
【保存期CKD患者への投与方法】常用量（5）
【特徴】インドの生薬Adhatoda vasica の有効成分を基礎として開発された気道粘液溶解剤で，気道分泌増大作用を有し，喀痰の粘度に関与する酸性糖蛋白を溶解・低分子化することによる気道粘液溶解作用をあらわす去痰剤．アンブロキソールのプロドラッグ．
【主な副作用･毒性】ショック，悪心，嘔吐，発疹，掻痒感，心悸亢進，頭痛，咳嗽，咽頭痛，呼吸困難，喘鳴など
【F】26%（1）
【tmax】8hr（ラット）（1）
【代謝】初回通過効果は75%（Biopharm Drug Dispos 3: 337-344,1982）代謝物はシクロヘキシル環の水酸化体とその閉環体であり、尿中には主としてグルクロン酸抱合体として排泄（1）
【排泄】尿中に77%回収され，主にグルクロン酸抱合体（1）尿中未変化体排泄率0.1%（Biopharm Drug Dispos 3: 337-344,1982）【CL】1.1L/min（1）
【t1/2】1.7hr（1）生物学的半減期6hr（Biopharm Drug Dispos 3: 337-344,1982）
【蛋白結合率】99%（1）
【Vd】3L/kg（1）
【MW】412.59
【透析性】データなし（1）蛋白結合率が高いため除去されないと思われる（5）
【TDMのポイント】TDMの対象にはならない【O/W係数】資料なし（1）
【備考】凍結や結晶析出のおそれあり冷蔵保存は避ける（1）
【更新日】20240814

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。